

◆タブレット端末を自分で操作できるようになる

1 対象児童生徒（対象学級）の実態

小学部 知的障害 自閉症

- ・こだわりが強く、活動をルーティン化することで落ち着いて活動できる。
- ・新奇不安があり、経験したことがない事に対しては大きな拒否反応が見られる。
- ・口頭指示のみで、切り替えて行動できる場面は少ない。

2 指導目標

- ・iPadに興味をもち、自分から触れるようになる。
- ・画面が反応する触れ方を一人でできるようになる。

3 取組の中心となる教科・領域等

- ・自立活動（心理的な安定、環境の把握）

4 使用したアプリ、周辺機器

- ・動画 ・スタイラスペン ・イヤフォン ・タブレットスタンド

5 指導の経過及び児童生徒の変容

段階的な指導によって、タブレット端末に興味をもつようになった。

現在は、①余暇活動の時に好きな動画を見ることができるようになった。

- ②興味をもった動画を授業で使用することで、意欲的に参加できるようになった。
- ③日常生活の指導でアプリを使用しても、目を向けるようになった。
- ④友だちと1台のiPadを共有する場面が見られた。



6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等）

- ・興味のある動画を準備し、その動画を見るために、iPadに触れて操作できることを知る。
- ・スモールステップでの指導を行った。
- ・触れ方によって反応しない時がある為、スタイラスペンを準備し、必ずiPadが反応する状況を作った。
- ・いろいろな動画を入れておき、興味のある動画を授業で使用した。